

令和7年5月13日

## 令和7年度 学校関係者評価報告書

学校法人 立志舎  
東京法律公務員専門学校仙台校  
学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「令和6年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告いたします。

### 1. 令和7年度学校関係者評価委員会

#### <委員> (五十音順)

青野也寸志 氏 宮城県立支援学校岩沼高等学園 教諭  
古藤 礼作 氏 防衛省自衛隊宮城地方協力本部仙台募集案内所 所長  
大平 慎太郎 氏 利府町上下水道部上下水道課 主事  
猪狩 翔 氏 多賀城市都市産業部都市整備課 主事

#### <事務局>

齋藤 洋輔 東京法律公務員専門学校仙台校 校長  
唐澤 正人 東京法律公務員専門学校仙台校 教務部課長  
小向 悠介 東京法律公務員専門学校仙台校 教務部課長

### 2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
基準1 教育理念・目標	<p>「学校教育法に基づき人格の陶冶と法律、行政、ビジネスおよび一般教養に関する正しい知識を身につけ日本経済の発展に貢献できる人材の育成を目的とする」とあるが、教育目標については、学則に記載し、設置認可先である各県に届け出ている。</p> <p>本学は開学以来「ゼミ学習」という本学独自の教育システムを導入したことにより、明るく楽しい学園生活と資格取得実績、公務員試験合格実績、民間企業就職実績を両立している。これにより、公務員採用試験においても行政職・公安職に毎年多数採用されている。また、民間企業就職率も高いことにも反映されている。</p> <p>また、「学生から信頼され支持される学校づくり」を学園の基本目標として教職員一丸となって取り組んでいる。</p> <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・合格実績と就職実績の裏付けにゼミ学習をはじめ、学園生活があると感じる。</li><li>・学生が卒業した後に広く活躍できることを目標に掲げていることがわかる。</li><li>・私も勤務先にもこの学校を卒業後に入職してくる人が多いが、若くして活躍している。</li><li>・私もこの学校のゼミ学習で楽しく学び、合格できた。</li></ul>

<p>基準2 学校運営</p>	<p>学園の基本目標として「学生から信頼され指示される学校づくり」を掲げており、教務室、事務室、就職相談室、受付などに掲示している。本学独自の教育システムである「ゼミ学習」を通じて、資格取得、就職および明るく楽しいキャンパスライフの3本柱を追求することにより「学生から信頼され支持される学校づくり」が実現されている。</p> <p>今後の状況の変化を正確に掴み、的確な判断をすることが必要であるが、昨今の雇用情勢を受け、採用計画に基づいた必要な人材を確保することが困難となっているため、待遇等の採用条件を見直す必要がある。</p> <p>学園には運営のための組織図があり、それに従って学校運営がされている。各部署には学校の目標達成のために数値目標が明確にされており、各部署の役割と権限、人的体制が整っている。運営組織や意思決定機能は効率的なものになっている。</p> <p>また、人事制度、働き方、職場改善などについての提言をまとめるため、人事制度プロジェクトを立ち上げ、定期的に会議を行っている。</p> <p>日常的な意思決定は、管理職がしている。学校間の調整は運営本部または部次長会議で行っている。理事会、評議員会、部次長会議、責任者会議、課会議、公務員企画会議といった意思決定プロセスが制度化され、その権限を明確にしており、意思決定システムは確立されている。</p> <p>情報システムについては、学務システム（入試システムおよび学籍管理システム）、経理システムを個々に運用しインボイス制度に対応している。なお、就職部は求人情報と学生情報をデータベース化して業務の効率化を図っている。在学生への求人情報の提供、学校が取りまとめる求人への申込をオンライン化し、「民間就職支援ポータルサイト」として運用している。また、全教職員にパソコンを貸与し、業務改善に取り組んでいる。</p> <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セキュリティに関する対策など、必要なことは全て行われていると判断できる。</li> <li>・適切な学校運営にあたり組織図が整備されていることが良いと感じる。</li> <li>・良い学校であるためには、学生の環境だけでなく職員の環境が大切であり、そのような環境が整っている。</li> <li>・目的ごとに委員会があり、それぞれ学生のために運営している。</li> </ul>
<p>基準3 教育活動</p>	<p>教育課程は、年2回開催する教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考に、カリキュラム作成委員会において社会のニーズに対応するために必要な科目を体系的に編成している。また、カリキュラム会議において各学科で目標とする資格取得のために定期的に見直しを行っている。</p> <p>各学科の目標を明確にし、官公庁説明会および学内就職セミナーで、官公庁および企業から回収したアンケート回答を基にした「社会が求める人材像」を学生に明示しており、学生が専門的知識や技術を持った上で、公務員を含め多岐にわたる業界や職種の人材ニーズに対応できる教育を実践している。しかし、人材ニーズに関しては今後も常に把握していかなければならない。</p> <p>学生の成績評価および単位認定については、その基準を明確に定め、専門課程便</p>

	<p>覧などで学生にも周知徹底し、厳正に行っている。また、成績評価については本学ホームページ上にも公開している。また、令和元年度よりGPA算定をするために、システムを改修し導入した。GPAの算定については、ホームページ上にも公開している。</p> <p>各学科で目標とする資格・試験を明確に定め、その合格がより確実になるようなカリキュラム編成をしている。そして、試験終了後カリキュラム会議を開き、次回に反映させるようにしている。</p> <p>学科の育成目標に向け授業を行うことができる教員として、専門性、人間性、教授力、必要資格等の諸要件を備えた人材の確保はできている。教員の専門性や教授力等を常にレベルアップするため、企業等との連携により最新の動向を取り入れる研修を行っている。</p> <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動が公務員や民間企業で働くことに直結している。また、研修に向き合う姿勢など、職員が誠実に行動できている。</li> <li>・職員全員が人権に関する研修を受講するなど、知識の向上には良好なことだ。</li> <li>・オンライン授業など、時代に合わせた体制作りにも取り組んでいる。私の職場でも実務に応じたオンライン出席や座席のフリーアドレス化が始まっている。これからは時代の変化に対応する姿勢を持ち続けてほしい。</li> <li>・先生と学生の両方が成長する土壤がある。</li> </ul>
<p>基準4 学修成果</p>	<p>本学では就職率100%・公務員試験に合格させるために、新入生就職セミナーをはじめ進路決定ガイダンス、学内就職セミナー、官公庁説明会を行っている。学内就職セミナーや官公庁説明会には多数の企業や官公庁に参加していただいている。</p> <p>また、資格取得については、学科・コースごとに目標とする試験および資格を明確にして過去の経験に基づき綿密なカリキュラムを組み立てゼミ学習で授業を進めている結果が成果となりあらわれている。</p> <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合格実績が高く、指導の賜物だと思う。私の自治体にも多くの卒業生が入職してきている。</li> <li>・上級の公務員にも多くの合格者を出しているのはすごいことだと思う。</li> <li>・素晴らしい学習成果をあげている。この実績を高校にもっと伝えてはどうか。将来の進路として公務員を考えているなら大学ではなく立志舎を選択し、こだわりを貫く方がよいかと思います。また、家庭環境が厳しい若者にとって、短期間で公務員になれる環境があるのは心強いのではないかと。</li> <li>・就職実績が大変よい。公安からすると公務員&amp;スポーツコースで体力を強化してから入職すると、実際に働いてみて役に立つと感じるはずだ。</li> </ul>
<p>基準5 学生支援</p>	<p>まず、民間就職希望者には、就職相談室を設け、就職担当者及びクラス担任が学生の就職相談、面接対策等の指導を行っている。公務員希望者には担任が公務員採用試験の出願から受験までの相談、指導を行っている。また、企業の人事担当者を招き学内就職セミナー等を実施し、官公庁の人事担当者を招き官公庁説明会を実施</p>

	<p>している。</p> <p>また、学生の様々な悩みに対応するために、学生相談室を設置している。一人も退学者を出さず入学者全員を卒業させることが最終目標である。そのために担任をはじめ各学科の教員が学生全員に目を配り、声をかけて退学率の低減に努めている。だが、学生はいろいろな悩みを持っており、それらの相談はまず担任にするものの、担任に話せない事柄もあり、その時は、学生相談室の担当者に相談している。この学生相談室は、匿名での電話相談にも応じている。また、オンライン相談受付窓口を設けている。学生に対して適切な指導、相談を行うためにも、出席状況、成績表を年に2回、学生相談室、就職相談室のお知らせ等を保護者に送付している。また、必要に応じて保護者と面談をし、学生の指導に役立てている。その内容を学務システムに記録している。</p> <p>さらに、学生の経済的側面に対する支援体制として、特別奨学生試験や各種特待生制度等を設けている。令和2年4月よりスタートした高等教育の修学支援新制度対象校として各県より確認されている。</p> <p>野球部、サッカー部、バスケ部、バドミントン部、チアリーディング部、ブラスバンド部などのクラブ活動や体育祭、学園祭、球技大会などの課外活動が盛んであり、学生主体で実施し、教職員が助言、指導をしている。</p> <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強面の他に学生をサポートできる体制があることは、学生の一助になっていると思う。また、クラブ活動によって学生間の横のつながりができることで、より学生同士で助け合えていると思う。</li> </ul>
<p>基準6 教育環境</p>	<p>設置基準に基づき教室、演習室、教員室、事務室などを設置しており、維持管理については定期的な点検整備を行い、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されている。また、防災指導担当者を校務分掌一覧に規定し、定期的に防災訓練を実施し、教職員、学生に防災に対する意識の喚起を行っている。</p> <p>また、災害時対応のみならず、不審者対応を含む危機管理マニュアルを作成し、教職員に周知徹底を図っている。</p> <p>さらに、各校で全教室がWi-Fi対応になり、同時にノートPCを増台・サーバ環境も導入し一般教室でも実習が実施可能となった。学生にはMicrosoft365のライセンスを貸与し、Teamsなども活用した効果的な教育環境を整備している。令和6年度にデジタル教材の活用のため各教室に大型モニタを導入した。</p> <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップについて検討してほしい。現在、若手行政職員の離職が多くなっていることから、インターンシップを実施できれば入庁後についてイメージをすることができ、ミスマッチを減らすことができると考える。</li> </ul>
<p>基準7 学生の受け入れ募集</p>	<p>公務員採用試験合格においては、信ぴょう性を確保するために本人の了承を得て合格者情報にイニシャル・出身校名を載せており、志望者や保護者の方の判断にも役立つと思われる。</p> <p>入学者に対するアンケートを行い、卒業生の活躍する教育成果が進路を決定する</p>

	<p>上で大いに参考になったとの数多くの回答を得ている。また、これらの情報をホームページ、LINE、X、Instagram を利用して、情報提供を強化している。AO入学に関しては、本学のアドミッションポリシーを基準として面談を行っている。本学の理解度、今後のやる気を中心に可否の判定を行っている。</p> <p>また、学納金に関しては学校の財政基盤の問題が出ないように、適正かつ妥当な金額に設定されている。</p> <p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種広報物やテレビCM、校舎の掲示から、公務員試験合格者が多く出ていることがわかる。</li> </ul>
<p>基準8 財務</p>	<p>事業活動収支差額の状況、主要な貸借対照表比率等から判断するに、今後、財政基盤の安定化にさらに努めていく必要がある。近年の定員充足率の減少傾向に的確に対応するためにも、中期的な入学者数の予測や事業計画との整合性の十分にとれた実効性のある中期計画策定が必要となる。</p> <p>法人寄附行為に基づき監査を実施し、その結果は監査報告書に記載し、理事会および評議員会へ報告している。</p> <p>財務情報の公開は、私立学校法の規定に基づき財務情報公開規程を定め、開示請求に対応する体制を整備するとともに適切に公開している。</p> <p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公開されている情報を見たところ、内容が詳細であり、財務基盤がしっかりとしていることがわかった。また、監査についても適切に行われていると考える。</li> <li>・中期計画の策定にあたっては、入学者数減少の要因についての予測が必要であると考える。</li> </ul>
<p>基準9 法令等の遵守</p>	<p>「学生から信頼され指示される学校づくり」を基本目標に、教職員には毎年人権研修の受講を義務付けるとともに、その他必要に応じて研修等に派遣したり、資料を配布したりするなど、法令、設置基準を遵守するための施策として法令遵守規程を作成し施行している。法令遵守推進管理者をおき、法令遵守の推進を図っている。例年、外部講師を招いて人権研修を実施している。</p> <p>個人情報保護に関しては、個人情報保護規定、プライバシーポリシーを設定している。学園の保有する個人情報を委託業者に取り扱わせる際には、個人情報保護に関する内容を文書化している。また、本学では信ぴょう性を確保する目的で、学生の了解を得られる場合においては、公務員採用試験、国家試験等の合格情報や就職実績の情報をイニシャルや出身校名を出して掲載している。この場合においては、教職員より学生に趣旨を説明し、文書にて承諾を得た旨記録し、個人情報を取り扱っている。</p> <p>「自己点検・自己評価委員会」を設置し、自己点検・自己評価を行っている。その結果についてはホームページに公開している。</p> <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法令等の遵守のために必要な研修が実施できていると考える。また、昨今は個人情報の管理について特に注意を要するところであるが、管理が徹底されていると</li> </ul>

	考える。
基準 10 社会貢献・地域貢献	<p>学生のボランティア活動を奨励し、支援している。学生は近隣の道路清掃をしており、その清掃活動は近隣から好評を得ている。</p> <p>また、各校とも地域の状況に応じて、社会貢献・地域貢献ができています。また、クールビズやゴミの分別など、省エネ、エコ活動に力を入れている。</p> <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立志舎高校生フィットネスボディコンテストを開催しているとのことだが、これはユニークな大会であると思う。</li> </ul>

#### 総括

##### 法律学科について

- ・顕著な実績を出していると考えます。専門学校で2年間で、将来組織の中核となりうる人材を育成している。実際に卒業生が活躍しており、活躍の裾野が広がっていると思う。
- ・専門学校から大学卒業程度の試験に合格していることは、学生および教員の努力があったことであると思う。特に昨年度は地域に根差した地方公務員への就職が多くみられる。引き続き頑張ってもらいたい。

##### 法律ビジネス学科について

- ・最近の若手行政職員の中には、PCに関するスキルや、ビジネスマナーの不足している職員がいる。法律ビジネス学科ではそれらの教育を行っており、卒業生を受け入れる側としては大変ありがたい。こうした教育は、面接試験においても生きてくると考える。
- ・法律ビジネス学科において、公務員スポーツコースが設置されたことから、卒業生がより幅広く活躍できる環境が整っていると考える。